

平成29年度第4回神岡地域協議会会議録

平成29年9月29日

神岡地域協議会

平成29年度第4回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
地域枠予算活用事業について	3
神岡地域の活性化に係る提案について	6
■その他	7
■閉会	9
■署名	10

平成29年度 第4回神岡地域協議会 会議録

■日 時：平成29年9月29日（火） 午前10時

■会 場：神岡支所 3階 大会議室

■出席委員： 12名

齊 藤 亘、久米川 和 行、今 真 弓、齊 藤 恵 子、
齊 藤 劭、齊 藤 博、佐々木 徹、鈴木 幸 一、
鈴木 美 保、高 橋 しげ子、傳 野 和 樹、中 村 淑 子

■欠席委員： 4名

伊 藤 明 美、今 野 公 行、齊 藤 由 紀、鈴木 幸 寿

■出席職員： 6名

伊 藤 禎 祐（神岡支所長）
小田原 一 春（市民サービス課長）
今 野 洋 樹（地域活性化推進室 主席主査）
及 川 隼 平（地域活性化推進室 主事）
富 樫 真 司（建設部都市管理課 参事）
高 橋 宗 秀（建設部都市管理課 技師）

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 支所長あいさつ
 - 4 会議録署名員の指名
 - 4 案 件
 - （1）地域枠予算活用事業について【協議】
 - （2）地域活性化事業（地域振興計画アクションプラン）について【報告】
 - 6 そ の 他
 - （1）立地適正化計画について【説明】
 - 7 閉 会
-

(午前10時 開会)

○小田原市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
ただ今から平成29年度第4回地域協議会を始めさせていただきます。
はじめに、齊藤会長よりごあいさつをいただきます。

○齊藤神岡地域協議会会長（以下「会長」と表記）

皆さんおはようございます。収穫のさなかでございますけれども、多くの方からお集りいただきましてありがとうございます。第3回の地域協議会以降、地震やら台風やら地域住民の財産を脅かすようなことが起きてまして、市の管理なのかわかりませんが看板が飛ばされる等の被害があったそうです。まだ余震は続いておりますし、予断を許さないといえますか、これが何かの前兆でないことを願うばかりであります。本日の案件は盛りだくさんですので、大変失礼ですがあいさつも簡単にさせていただきますと思います。たくさんの方の協議によって、よりよい神岡地域をつくっていただけるように、本日の協議会もよろしくお願いします。

○市民サービス課長

ありがとうございました。
続きまして、伊藤支所長よりごあいさつを申し上げます。

○伊藤神岡支所長（以下「支所長」と表記）

皆様おはようございます。今日は、お忙しい中ご出席賜りまして誠にありがとうございます。

それでは、前回7月21日の協議会以降の全市、また当支所管内の主な出来事についてご報告申し上げます。

まずは、7月22日からの大雨についてです。その日のうちに災害対策本部が設置されました。この大雨に対して、神宮寺町内に避難勧告、その後避難指示を行いました。神岡小学校及び平和中学校の体育館を避難所にしたところであり、そのほかにも避難所として、福祉センターと神岡支所2階和室を開放しまして、ピーク時には300名ほどが避難されております。被害状況につきましては、床上浸水が8棟、床下浸水が33棟、非住家被害が79棟となっております。

次に、8月24日からの大雨についてです。こちらも災害対策本部を設置しております。また、避難勧告も行っておりましたが、避難所には福祉センターに8世帯11人が避難されております。なお、神岡小学校と平和中学校の避難者はおりませんでした。被害状況につきましては、床上浸水が1棟、床下浸水が6棟、非住家被害が12棟となっております。

次に、9月1日に神岡地域敬老会が西仙北のユメリアで行われました。対象者1、

088名の内213名が出席してございます。民生委員の方々には大変ご難儀をおかけいたしまして、心より感謝申し上げます。

次に、9月8日に内陸南部地震が発生しまして、震源地が北檜岡付近ということになっております。震度5強に襲われたわけでありましてけれども、被害状況につきましては、住家一部損壊が6棟、非住家一部破損が5棟となっております。

次に、9月9日から10日までねんりんピックが開催されました。開催場所としまして、グランドゴルフが太田地域、将棋が仙北地域となっております、参加選手が嶽の湯にも泊まっております。

次に、9月14日に神岡南外花火大会が開催されました。およそ13,000人が観覧されたとのことでした。

次に、9月16日から21日まで全県500歳野球大会が開催されました。過去最高の185チームが参加されてございます。

次に、9月18日午前6時頃に台風18号が秋田県沖に最接近しました。被害状況につきましては、蒲地区の観光案内版がはがれております。

次に、9月24日に大仙市議会議員一般選挙が行われました。

以上、7月から9月まで様々な災害や行事がありましたけれども、これから災害がないようにご祈念申し上げまして、報告をもってあいさつとさせていただきます。

○市民サービス課長

この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、齊藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは会議を始めます。本日、伊藤明美委員、今野公行委員、齊藤由紀委員、鈴木幸寿委員より欠席の届けが出されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることを報告いたします。

次に会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、7番齊藤博委員と10番佐々木徹委員にお願いいたします。

それでは、本日の案件に入ります。

はじめに、地域枠予算活用事業について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室 今野主席主査）

【実施類型Ⅱ・Ⅲ型事業調書について、配布資料No.1に基づき説明】

○会長

それでは、資料No.1の3事業について、1件ずつ協議していきたいと思っております。はじめに、「大曲青年会議所」による「第11回全日本残月花火選手権大会」について、

皆さんからご意見・ご質問がありましたらお願いします。

○久米川和行委員

私からこの事業について補足させてください。目的としては、残月花火が以前は県内でも盛んに打ち上げられていましたが、住宅地が増えたり、電線が整備されたり、携帯電話のアンテナ塔が建てられたりしたことで、打ち上げが非常に少なくなってきました。こうした伝統文化を残していくことが1つ目の目的です。また、秋田は米所ですから、昔は稲穂を刈った田んぼを子ども達が駆け回ったものですが、最近の子ども達は外で遊ぶ機会が少ないものですから、田んぼの中を走る体験をしてもらうことが2つ目の目的です。毎回100人くらいの子も達が参加しており、打ち上げた花火を拾ってもらっています。以上の大きな2つの目的から開催されております。課題としては、第1回ときは県外の参加者もおりましたが、PR不足もありまして県内の参加者が減ってきています。もう一度参加者が増えるように青年会議所に働きかけをしますので、どうかこの事業についてご協力をお願いします。

○会長

久米川委員からの補足説明でした。ほかにご意見・ご質問がありましたらお願いします。

ないようですので、承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは承認いたします。

続いて、「神岡地区自治会連合会」による「自治会連合会組織強化事業」について、会長である齊藤委員から補足がありましたらお願いします。

○齊藤勲委員

皆さんご存知と思いますが、今年度から地域枠予算の申請基準に沿って精査しまして、事務費を除いた備品と郵送料について申請させていただきました。今年の自治連の事業の中にまちづくり研修という事業がありまして、合併した8市町村毎にこうした連合会的な組織ができております。しかし、事務局を置いていないところが多いので、まちづくり研修にはとなりの南外地域の連絡協議会と連絡をとりまして、どのように協議会を進めて、どのような予算があるのかを10月の終わりに訪問しまして、運営状況を交流しながら学んできます。どうぞよろしくをお願いします。

○会長

齊藤委員からの補足説明でした。ほかにご意見・ご質問がありましたらお願いします。

す。

ないようですので、承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは承認いたします。

続いて、「かみおか地域文化祭実行委員会」による「かみおか地域文化祭」について、皆さんからご意見・ご質問がありましたらお願いします。

ないようですので、承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは承認いたします。資料No.1のⅡ・Ⅲ型事業の協議は以上といたします。次に、Ⅰ型事業について協議いたします。事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室 今野主席主査）

【実施類型Ⅰ型事業調書について、配布資料No.2に基づき説明】

○会長

それでは、3件のⅠ型事業について一括で協議いたします。皆様からご意見・ご質問がありましたらお願いします。

山道等の草刈りについて質問ですが、内訳を見ますと賃金のみとなっていますが、機械は持ち込みでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 今野主席主査）

こちらの機械はすべて参加者の持ち込みとなっております。

○会長

では、持ち込みを含めた単価が940円という解釈でよろしいでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 今野主席主査）

そのとおりです。

○会長

ほかにご意見・ご質問がありましたらお願いします。

○佐々木徹委員

桜の復旧について質問ですが、内訳を見ますと倒木した桜の撤去費用がありませんけれども、どのように対応したのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 今野主席主査）

倒木して復旧不可能な桜や河川の増水によって流れ着いた流木等は、市の農林建設課でクリーンセンターへ搬入しまして撤去いたしました。従いまして、皆様にお示ししております経費については、傾いている桜をまっすぐな状態に戻しまして、添え木を付け足す作業のみの経費であります。

○会長

ほかにご意見・ご質問がありましたらお願いします。
ないようですので、承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは承認いたします。資料No. 2のI型事業の協議は以上といたします。
次に、「地域活性化事業（地域振興計画アクションプラン）について」、事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室 今野主席主査）

【地域活性化事業（地域振興計画アクションプラン）について、配布資料No. 3に基づき説明】

○会長

第3回地域協議会までの皆さんの意見を集約したものが、こちらの3つの事業のようです。これらの事業は既に本庁へ提出しており、その結果この中から音楽交流館活用事業のみに絞られたようです。このことを踏まえまして、皆様のご意見・ご質問をお受けしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○齊藤勲委員

計画の段階でこれからだと思えますけれども、椅子の発注をしていただけることは非常にありがたいのですが、50脚という数字はイベント開催時の観客数を考えますと足りないと思えます。それと、この事業を計画していく上で、ぜひとも地元の小・中学生で音楽に憧れている、または吹奏楽に入部している子ども達のレベルアップのためにも、恩恵をあずかれるような場もつくっていただきたいと思えます。

○事務局（地域活性化推進室 今野主席主査）

貴重なご意見ありがとうございます。今後の計画に反映できるように取り組んでまいります。

○会長

雨漏りの修繕については、物理的なものですので調査後に詳しい金額が出てきますでしょうし、どこまで直せるのかというのもその時に判断できると思います。この事業は地域振興計画という大きな枠をもとに計画されているものですが、いまの段階でこの資料だけから読み取りますと、利用者に関しまして偏りが見受けられるところが課題ではないかと思います。この計画をどのように住民に還元していき、主役として一緒に動ける内容にしていくのかも検討していただきたいと思います。

ほかに皆さんからなければ、「地域活性化事業（地域振興計画アクションプラン）について」は、以上といたします。

続いて、次第のその他に入ります。「立地適正化計画について」、事務局より説明をお願いします。

事務局（建設部 都市管理課 富樫参事）

【立地適正化計画について、配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について、皆様からご意見・ご質問がありましたらお願いします。

○久米川和行委員

今の説明は立地適正化計画とは何かというお話だけだと思いますが、資料のスケジュールを見ますと調査であったりアンケートとありますけれども、この素案を作るにあたってどれだけ神岡の住民が関わっていけるのでしょうか。それとも、本庁主導のもと進んでいくのでしょうか。

事務局（建設部 都市管理課 富樫参事）

今年度中に計画しなければならず、本来でありましたら各地域の意見聴取をするべきところではありますが、逆にこちらからこういう素案で進めたいという流れで了承をいただきたいと考えております。

○久米川和行委員

地域住民は、その素案を眺めることしかできないことに結果的になってしまうと思うのですが、ぜひとも地域活性化につながる立地適正化計画にしていきたいと思っております。

事務局（建設部 都市管理課 冨樫参事）

補足させていただければ、この立地適正化計画を策定するにあたっては、都市計画からの面だけではなく、地域振興計画、大仙市人口ビジョン、公共交通計画、福祉計画等といった様々な分野の地域住民が関わっている計画を網羅できるように、それらのエッセンスを組み入れた計画にしていきたいと思っております。

○会長

検討委員会や諮問委員会というのは、予定していないということでしょうか。

事務局（建設部 都市管理課 冨樫参事）

大仙市の中の 都市計画審議委員会という行政だけでなく、民間の方も入っている委員会に付託して審議していただく場もあります。最終的には、一方的にこちらから計画を示すというわけではなく、地域住民の意見を聞き、都市計画審議委員会の意見を聞く流れになります。

○会長

ほかに皆さんから質問等ございませんか。

ないようですので、「立地適正化計画について」は、以上といたします。ほかに事務局から何かありますか。

○事務局（地域活性化推進室 今野主席主査）

事務局から説明事項が3つございます。

1つ目は、神岡地域協議会委員の視察研修会についてです。今年度も第5回目の地域協議会終了後に研修を実施することになるかと思っておりますので、12月上旬から中旬に開催となります。研修内容については、事務局と会長とで相談し決定したいと思いますので、よろしいかお伺いします。

2つ目は、本庁企画部から連絡によりますと、9月12日に企画部の夏季政策調整会議が開催されまして、各地域の桜の管理や地域桜予算について、市長との協議が行われました。その結果ですが、企画部で実施しておりました桜守プロジェクト事業について、平成30年度から予算を置かずに、地域の桜の手入れは、地域桜予算のⅡ型での実施とするように指摘がありました。なお、神岡地域ではさくらの会によるⅡ型と中川原以外の桜については、Ⅰ型で管理を行っているのが現状です。地域桜予算については、毎年同じ事業がⅠ型で実施されている状況が多くみうけられており、「住民との協働によるまちづくりを応援し、住民が自主的かつ主体的な担い手として対応する活動を応援する事業の趣旨」を逸脱したもので不適切であるという指摘がありました。今後Ⅰ型の事業については、各支所の地域活性化推進室と本庁企画部のまちづくり課とで精査を行う予定です。

3つ目が、次世代地域リーダー育成セミナーの開催について、本庁まちづくり課から周知依頼がありましたのでご説明します。

【次世代地域リーダー育成セミナーについて、配布資料に基づき説明】

○会長

まずは、神岡地域協議会委員の視察研修会についてですが、開催が12月頃で内容も含めて検討するという事ですのでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

続いて、I型の事業と次世代地域リーダー育成セミナーについて、皆さんからご意見・ご質問がありましたらお願いします。

ないようですので、事務局からの説明は以上といたします。その他に委員の皆さんから何かございますか。

ないようですので、本日の協議会を閉じさせていただきます。長時間にわたり大変お疲れ様でした。

○市民サービス課長

以上をもちまして、平成29年度第4回地域協議会を閉会いたします。
本日はありがとうございました。

(12時10分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

齊 藤 博

佐々木 徹
